

令和7年度 学童クラブ待機児童対策計画

区市町村名

足立区

令和7年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

179人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

学童需要が見込まれる地区に対しての整備を実施し定員を増やしているが、学童クラブの申請率が年々上昇することにより待機児童が発生している。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

毎年度の申請状況に加え、大規模マンション開発を加味した学齢人口の推移等から小学校学区別の学童需要分析を実施し、必要な地域への学童保育室整備を実施する。

(2) 具体策

以下の3つの手法により量の確保を進めていく。
①小学校の余裕教室を活用した校内の学童保育室を整備していく。
②需要が多く見込まれる地区に民設学童保育室を誘致する。
③放課後子ども教室との一体的運用を順次開始する。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

需要が多い地域に整備することで、待機児童数の減少が見込まれるほか、保護者の要望が多い小学校内の学童保育室を整備することで利便性の向上にも寄与している。

4 これまでの推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生児童数	30,276	29,727	29,127
増減	-	(549)	(600)
登録児童数	4,994	5,118	5,209
増減	-	124	91
待機児童数	244	263	388
増減	-	19	125

5 今後の見込

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	累計	
小学生児童数	28,678	28,576	27,858	27,395		
増減	(449)	(102)	(718)	(463)		
申込児童数	6,120	5,789	5,652	5,541		
増減	-	(331)	(137)	(111)		
登録児童数	5,439	5,715	5,626	5,541		
増減	230	276	(89)	(85)		
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	①校内学童保育室の整備 ②民設学童保育室の誘致 ③放課後子ども教室との一体的運用	①校内学童保育室の整備 ②民設学童保育室の誘致 ③放課後子ども教室との一体的運用	①校内学童保育室の整備 ②民設学童保育室の誘致 ③放課後子ども教室との一体的運用	①校内学童保育室の整備 ②民設学童保育室の誘致 ③放課後子ども教室との一体的運用		
待機児童数	179	74	26	0		
増減	(209)	(105)	(48)	(26)		(388)